

目標値の設定について委員からの意見集計結果

【目標値の設定の考え方について】

目標項目（案）		単位	実績値 (R 元)	委員からの意見（得票数など）			本市現行 計画目標	国・県の 目標値
				①	②	その他		
1	1人1日当たりのごみ排出量 (生活系ごみ+事業系ごみ)	g/人・日	795	0	6	790 715.5 (10%減)	800	—
2	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量 (生活系ごみ-資源ごみ)	g/人・日	528	3	3	440 475 (10%減)	—	約 440
3	事業系ごみ排出量	t/年	26,143	2	4	23,499 23,528 (10%減)	23,499	48.8 万
4	最終処分量	t/年	8,209.55	0	5	8,200 7,388.5 (10%減) ①or②	9,088	44g/人・日
5	リサイクル率	%	17.2	1	5	28 18.9 (10%減)	25.4	約 28*
6	家庭から排出される食品ロス量	t/年	8,047 (推計値)	3	3	8,047 7,242 (10%減)	—	216.5 万

※一般廃棄物の出口側の循環利用率・・・一般廃棄物の循環利用量／一般廃棄物の排出量

【目標値の設定方法】

- ① 国・県の目標値を基に数値目標を設定・・・国や県が掲げる目標値を基に越谷市としての目標値を設定する。
- ② 越谷市における人口や排出量等の推計により数値目標を設定・・・越谷市における人口の予測や施策の効果を踏まえた項目ごとの推計値を積み上げ、目標値を設定する。

【その他の意見】

No	意見の内容
1	目標値の設定につきましては、基本的に国・県の目標に合わせることにし、市の実績値が国・県の目標値を上回っている項目は、市の目標値としては如何でしょうか。
2	基本的には、越谷市のこれまでの実績、地域特性などから独自の数値目標を設定するのがよいと思います。 なんらかの理由で（これまでのデータがない、不十分など）それが難しい場合には、①で設定することになるのではないのでしょうか。
3	目標値なので、無理のない値に設定する必要があるが、野心も必要である。 1、2、3及び6は、市民や事業者に直接かかわることなので、無理のない値（人口予測、過去の傾向からの予測）＋頑張る値（施策の効果）。最終処分量とリサイクル率に関しては、費用をかければある程度は改善する値なので、無理のない、現実的な目標値にする方がよい。
4	市内の経済状況等「市民の生活」と、国・県内の経済状況等「国・県内の生活」の内容が違うため、目標値は変わる。
5	事業系の減量化、資源化を徹底すれば、1～5項目の値が下がると考える。各項の実績値の10%減を目標とする。
6	国が、2022年度以降にプラごみ専用区分を新設してリサイクル促進を図るためのプラごみ一括回収を検討しているので、越谷市もその制度に取り組みばリサイクル率は向上するのではと考えました。
7	生活系ごみの出し方で、最近の若い方々は物を捨てることに対してあまり抵抗を感じないですぐ捨ててしまう様である。必要であれば、また買えば良いという気持ちが多く見受けられる。ごみ排出の抑制の意味からも、もう少しもったいないという気持ちが必要だと思ふ。